



「協同組合がよりよい社会を築きます」

～国際協同組合年スローガン～

第24回

総代会・6月30日(土)・総合福祉会館で開催



東日本大震災・福島原発事故から1年目の3月11日、医療生協など地域実行委員会の呼びかけで「なくせ原発・核燃！三八地区集会」が長者まつりめぐ広場で開かれ、中心街をパレードしました。医療生協は各支部ののほり旗をはじめ「放射能から子どもを守ろう」の横断幕や多くのプラカードを持って参加しました。全体で227名もの参加者で市民にアピールしました。

○住民本位の復興を求め、引き続き被災地・被災者支援し、連帯していきま

○支部・班でDVD「放射線被曝から子どもを守るために」を活用した学習を進めます。

○避難生活されている福島県の医療生協職員の家(455家族・二泊三日)を八戸まつり期間に招待し、交流をします。

○さようなら原発・核燃、自然エネルギーへの転換を求める地域の連絡会に参加し、いのちとくらしを守る活動を進めます。



学習会用DVD「放射線被曝から子どもを守るために」

大震災復興と原発・核燃・放射能 汚染被害と向き合う取り組みを

二〇一二年度の重点課題から

今年度の総代会は、国連が定めた2012年国際協同組合年のもとで開かれます。国際協同組合年は、人と人とのつながりを大切にして助け合う協同組合が国際的に大きく期待されていることを示しています。東日本大震災と福島原発事故という世界が経験したことのない過酷事故から一年が経過した今、生協に寄せる思いを新たに、第24回総代会を迎えようではありませんか。

さるかどした

八戸医療生活協同組合
〒031-0001
八戸市類家5丁目38-20
発行責任者 内田弘志
TEL0178-71-3456

住所を変更した時は早めにお知らせ下さい。

住宅型高齢者施設の具体化と 診療所増築工事に着手！

○昨年度の総代会で承認された診療所の増築は大震災による資材確保等で遅れていましたが、今次総代会で再確認の上、早期に工事にとりかかります。

○ケア付き高齢者有料住宅など高齢者施設計画を2013年度総代会に提案できるように討議を進めます。

○診療所や介護施設の改修を進めます。



八戸市の助成を受けて中庭を避難しやすく改修した小規模多機能みなみいけの家

○新たな事業展開に向けて増資運動に取り組みます。

2012年度の重点課題(案)

- 一、東日本大震災の復興と放射能汚染被害と向き合う取り組みを
- 二、診療所の増築を成功させていっそうかかやすい外来を
- 三、支部を単位に、班を基礎に、活動を豊かに
- 四、健康づくり運動を広げよう
- 五、2013年度総代会に向けて高齢者施設建設の具体的な計画づくりを
- 六、いのち・くらし・平和を守るために「憲法9条・25条をすべての活動に生かして
- 七、理事会・専門委員会の議論と活動を活発に

○医療生協のある東日本大震災の被災地では、支部・班が身近な支援活動に大きな力を発揮しています。班づくり、支部づくりを進めます。

○ふれあい昼食会、茶話会、サークルなどつながりを大切にした活動を広げます。

○ボランティアの会(なのはな)、コープくらしのたすけあいの会のボランティア活動を進めます。

○生協だより「さるかどした」の手配り協力者増やし、組合員一人達成をめざします。



ふれあい昼食会(二中支部) 始めてから10年。今年30回目を迎えます。毎回50名前後の参加者で楽しいひとときを過ごします。

班を基礎に、支部を単位に 豊かないきいき組合員活動を

総代会を構成する総代選挙は、各選挙区とも定数を超えないため全員の当選を確認しました。総代選挙管理委員会

支部別組合員数 (2012.3.31現在)

支部名	組合員数	支部名	組合員数
一中	1,318	根城	641
二中	484	下長	397
三中	865	上長	141
大館	817	是川	387
東	659	館	87
白銀	507	南郷	89
湊	343	階上	315
小中野	369	上十三	161
江陽	203	(鮫)	205
長者	510	(市川)	107



待望の新班誕生!(湊支部) 3月14日、「絆」班が結成されました。班長の佐藤正博さんを中心にいきいき班会をめざしています。

診療所休診日

(毎月最終土曜日)

月	休診日
5月	26日
6月	30日
7月	28日

「一〇〇歳までの上手な生き方」の著者稲垣元博先生は、長生きには一日30品目を食べるように力説しているが、カラスは一日に何品目食べているんでしょうねー。

夫 (社保委員会 一山義夫)

虹の旗

暖かくなつてくるとカラスがやたらと元気が良くなつてくるようにみえるが、どんなもんだろう。畜場の坂を上り、こどもの国からまつり行くところ

階上町との境界になるこの辺の電線には夜明けの頃、どこから集まってくるのか止まり場所を探すのも大変なほどのカラスの大群がじつと待機している。ヒッチコック監督の映画「鳥」を思い出して、気持ち悪いほどです。生ゴミを漁りに行く段取りをつけているのでしょうか。

我が家の前がゴミ出し場で、指定の袋に入れて電柱に取り付けた網をかぶせカラスよけにしている。近所の7軒が利用しているので結構の量になる。これまでカラスよけをいろいろ試したが、プラスチック製の鳥の形をしたものを吊るしておく、これは絶大な効果を発揮、全く寄り付かなくなった。しかし、カラスは利口だから偽物の鳥だとわかるのは時間の問題。今は生ごみのかわりに我が家の犬「白」の餌を食べにくるようになった。

いつでも、どこでも、だれでも安心できる医療・介護の充実を



◇消費税が始まって23年目の4月2日、医療生協も参加する消費税廃止八戸各界連絡会と三八社会保障推進協議会は、市内中心街・三春屋前で増税反対の街宣を行い、1時間近くで81筆の署名を集約しました。(右は配布チラシ)



生活援助の時間短縮に利用者も事業者もため息

掃除、洗濯、調理、買い物などヘルパーの「生活援助」の時間が短縮(下記表)されたことに、ヘルパーの援助で暮らしている要介護者から不安の声が聞かれます。また、ヘルパーステーションは介護報酬の切り下げで事業への影響が心配されています。学習会の参加者からは「改正なの? 改悪でないの?」の声が聞かれました。

県内の医療生協や購買生協で活動している「コープくらしのたすけあい」は、4月18日、コープるいけ店研修室で八戸・三沢地域会員のつどいを開き、八戸医療生協居宅介護支援事業所ケアマネジャーの大坂弘子さんを講師に4月から変わった介護保険について学習しました。(写真)

4月から介護保険が変わりました

“改正なの? 改悪でないの?”

訪問介護・生活援助の見直し

	3月まで	4月から
時間	30分~60分未満	→ 20分~45分
介護報酬	2190円	→ 1900円
時間	60分以上	→ 45分以上
介護報酬	2910円	→ 2350円



※生活援助の利用料(自己負担)は上記金額の1割となります。

介護保険のことで困っていることがありましたら気軽に問い合わせください。

組合員活動あらかると

4月から介護保険料も改定

三八市町村の新介護保険料(65歳以上)
(2012年度~2014年度)

市町村	月額保険料	前回は
八戸市	4,800円	据え置き
三戸町	5,700円	+500円
五戸町	5,200円	+368円
南部町	5,400円	+500円
階上町	4,800円	+364円
田子町	5,840円	+720円
新郷村	4,200円	-600円

※保険料の金額は基準額です。

◇八戸市の新介護保険料◇

所得段階	月額	年額
第1段階	2,400	28,800
第2段階	2,400	28,800
第3段階	3,600	43,200
第4段階	4,800	57,600
第5段階	6,000	72,000
第6段階	7,920	95,040
第7段階	9,600	115,200



上十三支部 3月18日、十和田市東公民館で「福島原発事故と核燃サイクル」をテーマに学習会と医療生協の線量計を使って放射線測定会を実施。学習会は元県民医連事務局長の河内淑郎氏を講師に勉強しました。上十三各地から23名が参加しました。



ボランティアの会「なのはな」 4月19日、組合センターで2012年度総会を開催。日ごろ生協通所リハビリテーションのボランティア活動に参加している会員のみなさん27名で話し合いました。会長に廣瀬郷美さんを再選しました。総会后、会員の馬渡幸和さんを講師に認知症の学習会。昼食の後には全員で自己紹介。「利用者さんから逆に元気をもたらしている」など日ごろの活動での思いを出し合いました。本部からは荒岡専務理事がお礼のあいさつをしました。

義援金100万円 八戸市へ寄付

4月5日、内田副理事長と荒岡専務理事は、日本医療福祉生協連が全国の医療生協から集約した大震災の義援金二次分100万円を八戸市に届けました。昨年8月に一次分として500万円贈っています。



◆出資金残高証明書の確認を◆
この生協だよりといっしょにお届けする2012年3月までの出資金の残高をお知らせする証明書の確認をお願いします。不明の点がありましたら本部へ問い合わせください。(71)3456



山の会 山の会は4月15日、残雪の階上岳登山で今年の山開きを行いました。



高校生一日医師体験 生協診療所では3月27日、上十三、三八地区の医師志望の高校生に呼びかけて一日医師体験を実施しました。

新入職員紹介



西本文子 介護支援専門員

ご利用様へご家族様よりよい生活を送れるようお手伝いしていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

◇シリーズ・古玉農二の辻説法⑩◇ 寝相

今年の冬は寒かった。動きが鈍るし、加えて老人の痛んだ神経が就寝時まで尾を引く。さらばと、仰向きを横臥に変え、更にえび折り寝にしてみても、痛みは同じ。人類理想の寝姿はどうなのかとふと考えてしまふ。折もおり、風邪を引きかけ生協診療所へ。所在なさに、ふと目を古い雑誌にむけると、なんとそこには、今を時めく日野原名誉院長考案の安眠まくらの広告文。神の啓示かと電気が走った。私にはときどきこういうことが。どんなものかとみてみると、頭・おなか、そして足と三個の枕。それを使つてのうつぶせ寝。これが私に最高の「眠り」をくれるのかと疑問も持つ。しかし、ここで迷っては求道者の道に反すると決意、ネットで発注した。

旬日を出でず、商品到着。早速それを使つて安眠道の追求。うつぶせ寝五時間が寿命を延ばすとか。こちらは寿命よりも痛みの軽減の追求。理想の眠りで痛みだつて和らぐだろうとの想い。
二三の「ためしてがってん」でとり上げたかは知らないが、こしはばらくは、自らの人体実験で「眠り学」を研究してみようと思ひます。真理の探究は未だこれからとも!

エンディングセミナーに

参加してみませんか

「お葬は心のなかに」をテーマに自然葬や最近のお葬式の傾向などを学び考えるセミナーです。5月26日(土)、午後一時から福祉公民館(類)で。参加費は500円。主催はNPO法人葬送の自由をすすめる会 問い合わせ先・(45)7107(清野利克さん)